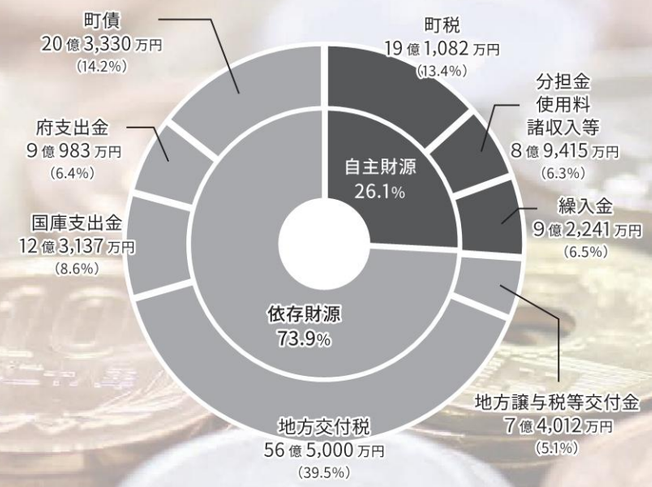
令和8年度 与謝野町の予算

与謝野町では厳しい財政状況が続く中、限られた財源を活用して「住民に寄り添うやさしいまちづくり」を実現するための令和8年度予算を編成しました。

皆さんに納めていただいた税金がどのように活用されているか、今月号では令和8年度当初予算の概要をお知らせします。

問 企画財政課 ☎43・9015

一般会計の歳入（まちに入ってくるお金）



※ 各項目の小数点第2位を切り捨てていますので、%の合計が一致しない場合があります

当初予算の詳細は、町ホームページからご覧いただけます。

令和7年度 一般会計当初予算額
134億2,900万円
▼
令和8年度 一般会計当初予算額
142億9,200万円
▶
令和7年度から
8億6,300万円の増加

【主な要因】
人件費 … 1億5,111万円の増加
普通建設事業費 … 7億5,821万円の増加

【一般会計】骨格予算ではあるが過去最大

令和8年度予算は、町長・町議会議員選挙を控えていることから、新規施策や政策的経費を極力抑え、義務的経費を中心に編成した「骨格予算」となっています。その一方で、長引く物価高騰の影響を受ける住民生活への対策をはじめ、子育て・教育分野への対応や、保健・福祉、防災・減災など、住民の皆さんの健康や暮らしなどを守るため、年度当初から取り組む必要がある事業を計上しています。

予算総額は142億9200万円となりました。人件費などの経常経費の増額に加え、複数年度にわたって実施する学校給食センター施設整備事業や認定こども園施設整備事業の推進により普通建設事業費が増加し、骨格予算ではありますが合併以降で最大規模となっています。

歳入の主な内訳は、地方交付税が全体の39・5%を占め、町税が13・4%、国庫支出金が8・6%となっており、国や府からの財源に依存する財政構造となっています。また、町債（まちの借金）は、野田川地域の認定こども園や学校給食センターの建設などにより、前年度と比較して約61・8%増の20億3330万円となっています。

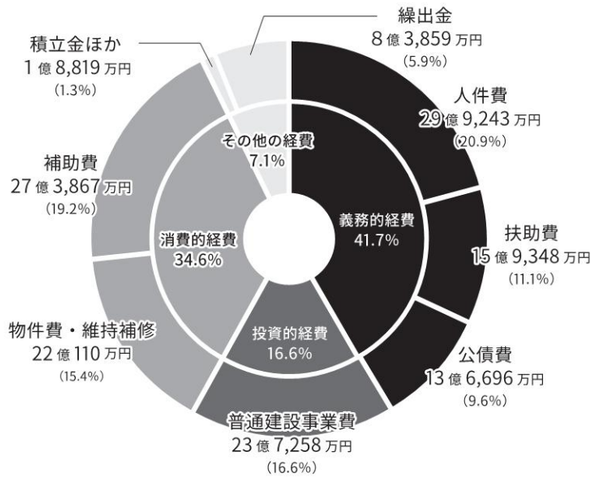
歳出の主な内訳は、職員などの人件費が全体の20・9%を占める29億9243万円で、国の人事院勧告による給与改定や地域手当の引き上げなどにより、前年度から5・3%増となっています。また、普通建設事業費は、学校給食センター施設整備事業や認定こども園施設整備事業の実施により、前年度から47%増の23億7258万円となっています。

特別・公営企業会計の概要

特別会計は特定の事業を行うための会計で、基本的な行政サービスを行う一般会計から切り離して管理しています。また、公営企業会計は民間企業と同じように事業収益によって経営しており、こちらも一般会計と切り離して管理しています。8会計の総額は91億4096万円となり、前年度と比較して1・0%の増加となっています。

水道事業会計では、「与謝野町水道施設耐震化計画」にもとづき管路の耐震化や浄水場設備の更新ほか、検針業務の効率化をめざした水道スマートメータの本格運用を開始するなど、前年度から12・2%の増加となっています。

一般会計の歳出（まちが使うお金）



基金の状況 貯金

令和4年度決算額	16億1,800万円
令和5年度決算額	15億1,500万円
令和6年度決算額	15億2,800万円
令和7年度見込額	10億8,000万円
令和8年度見込額	5億8,300万円

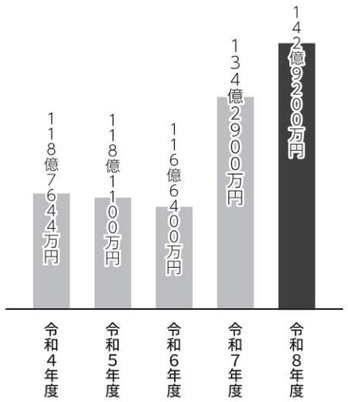
※ 財政調整基金のみの残高

町債の状況 借金

令和4年度決算額	約251億円
令和5年度決算額	約235億円
令和6年度決算額	約219億円
令和7年度見込額	約213億円
令和8年度見込額	約215億円

※ 全会計の残高

【一般会計】当初予算額の推移



特別会計・公営企業会計予算

会計別項目	令和8年度予算	前年度対比
宅地造成事業特別会計	6,293万円	0.0%
介護保険特別会計	30億8,528万円	1.9%
土地取得特別会計	59万円	28.3%
国民健康保険特別会計	21億3,103万円	▲4.2%
後期高齢者医療特別会計	4億3,892万円	7.0%
財産区特別会計	9,578万円	▲3.3%
水道事業会計（公営企業会計）	13億7,115万円	12.2%
下水道事業会計（公営企業会計）	19億5,528万円	▲2.6%
計	91億4,096万円	1.0%